

7 デジタル行政推進リーダー育成と全職員への研修も実施【石川県金沢市】

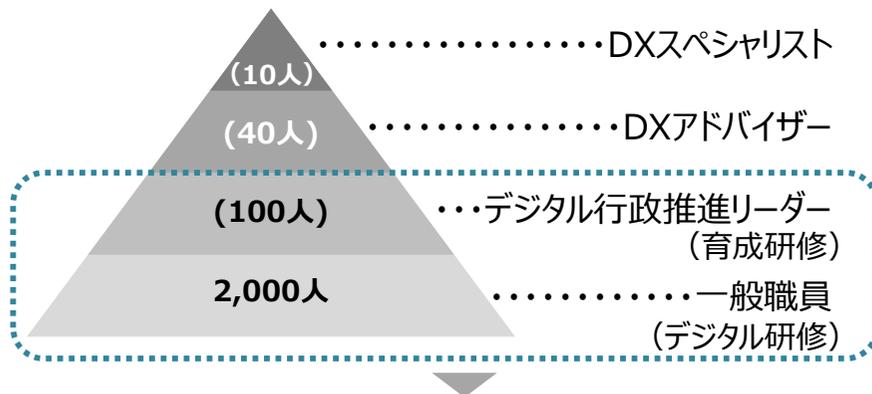


➤ 全職員の情報リテラシーを高めるための管理職を含む全職員への研修の実施に加え、デジタル化の中心となるリーダー職員を育成し、デジタル技術の活用を全庁に広める

事業の概要

- 令和3年より、**管理職を含むすべての一般事務職員約2,000人にデジタル研修を実施。**
- 令和3年5月より、デジタル化推進の中心となる職員（30代の職員20名が対象）の育成を開始。今後「**デジタル行政推進リーダー**」を計**100人育成し、約100ある全課への配置を目指す。**

<育成体制のイメージ> ※かっこ内は将来数

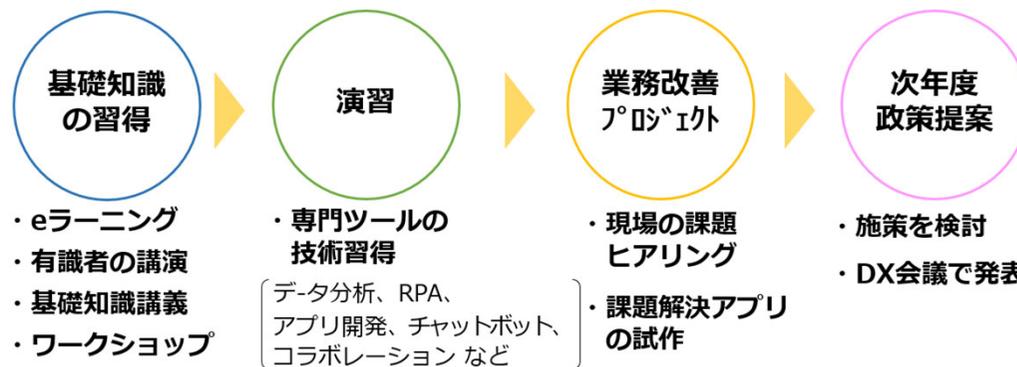


<令和4年度の具体的な取組> (別紙参考資料参照)

デジタル行政推進リーダーの育成	拡充
全職員向けデジタル基礎研修	拡充
管理職向けデジタル研修	実施
ICTリテラシー向上のための研修	拡充
職員のSNSを活用した広報発信力向上研修	実施

<デジタル行政推進リーダー育成研修>

対象者：概ね30代の職員、前向きに業務改善に取り組む意欲があること
 期間：5月～11月（約200時間）
 受講者：20名（平均年齢33歳、男性8人・女性12人）※令和4年



デジタルツールの習得や知識の獲得だけでなく、
 市民目線での課題発見や解決に向けた
 「サービスデザイン思考」の習得に主眼を置いたプログラム

7 デジタル行政推進リーダー育成と全職員への研修も実施【石川県金沢市】



(総務省)

取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和元年度からRPA、AI等の活用により業務改善を進めてきましたが、今後更なる業務の増加・職員の減少が見込まれる中で、業務自体の抜本的変革に取り組む必要があると考えました。

そこで、**現場の事務を一番知っている全職員の意識変革と、それを実践するリーダーを育成するための研修を、令和3年のデジタル戦略の策定を機にスタートしました。**



(金沢市)



デジタル行政推進リーダー育成において、コストはかかりましたか。また、国の支援策を活用しましたか。

有償ツールライセンス料金（MS365、PowerPlatform等）や研修実施に係る**講師謝礼等**の費用がかかりました。
この他、総務省の地域情報化アドバイザー制度を活用しました。

※MS365 : 主にTeams等のコラボレーションツールを利用。

PowerPlatform : Apps、BI、Automateのハンズオン研修や課題解決プロジェクトにて試作アプリの作成時に利用した。



近況や苦勞・工夫している点を教えてください。

受講に**意欲的な職員を募るのに苦心**しています。

また、受講者のデジタルリテラシーに差があるため、講義内容やハンズオンの際に進捗に差がでたため、**フォローアップ体制を強化する必要がある**と感じているところです。



今後の展望を教えてください。

令和7年度までに100名の育成を完了し、各リーダーが庁内DXを推進する環境を整備していきたいです。



☆担当：金沢市 デジタル行政戦略課 ☆

【参考情報】 金沢市人口：44.9万人

関連URL：金沢市DXアクションプラン (<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/digitalgyoseisenryakuka/gyomuannai/7/1/23910.html>)

7 デジタル行政推進リーダー育成と全職員への研修も実施【石川県金沢市】

参考資料

デジタル行政推進リーダー育成研修

対象者 (要件) 原則自薦、所属長の推薦も可
 ・概ね30代の職員
 ・前向きに業務改善に取り組む意欲があること

受講者内訳

令和3年 20名
 ・平均年齢35歳(20代~40代)
 ・男性18人、女性2人
 令和4年 20名
 ・平均年齢33歳(20代~40代)
 ・男性8人、女性12人



令和3年度



令和4年度

※金沢市公式noteに記事を載せております。<https://kanazawa-city.note.jp/>

1

デジタル行政推進リーダー育成研修

期間 5月~11月 (約200時間)



課題共有ワークショップ (7月20日)



デジタルツールの習得や知識の獲得だけでなく、市民目線での課題発見や解決に向けた「サービスデザイン思考」の習得に主眼を置いたプログラム

2

金沢市におけるデジタル人材育成

令和4年度 研修メニュー

期間	内容	
5月~6月 (30~40時間)	【講義】 行政職員に響く・為になるDX基礎知識の習得やマインドセットの変革	【学習内容】 ・DX基礎知識 ・サービスデザイン思考 ・BPR (業務改革) ・EBPM (データに基づく政策立案) ・セキュリティ 等
7月~8月 (30~40時間)	【演習】 業務で活かせる、ノーコード、ローコード等の開発ツールの技術演習	【学習ツール】 ・アプリ開発 (PowerApps) ・データ分析 (PowerBI) ・RPA (PowerAutomate) ・チャットボット (PowerVirtualAgent) 等
9月~10月 (80~100時間)	サービスデザイン思考に基づく課題解決プロジェクト	グループによる課題解決アプリの試作
11月 (20時間)	次年度政策提案	個人による各職場での業務改善等の施策を検討

3

金沢市におけるデジタル人材育成

デジタル行政推進リーダー育成研修

各ツールを習得し使いこなすことよりも、業務で生かせる開発ツールの知識を得ることが目的

学習ツール

データ分析

Power BI
データ分析

Tableau

チーム開発、コラボレーション

Project Online
プロジェクト管理

To-Do
TODOタスク管理

Whiteboard
ホワイトボード共有

ノーコード・ローコード

Power Virtual Agents
チャットボット

Power Apps
アプリ作成

kintone
アプリ作成

Power Automate
タスク自動化 (RPA)



RPA実践セミナー (8月18日)

PowerPlatformの各アプリケーション名称は、米国Microsoft Corporationが開発したアプリケーションの名称です。その他、記載されている製品名は、各社の登録商標または商標です。

4